

【活動紹介】設計スキル向上研修

技術開発本部では、設計者教育のひとつとして、社員が講師を務める設計スキル向上研修を行っています。本研修により、弊本部での設計に必要な基礎や要点を理解し、研修後、補助を受けながらも主体的に設計が出来るようになることを目標としています。

受講は、希望者の自由応募です。講師は、講師を希望する社員が、特定の科目の中から好きな科目を選択します。講師は、自身の持つ技術を資料に落とし込むことで理解が深まると同時に、技術継承やコミュニケーションにも役立っています。

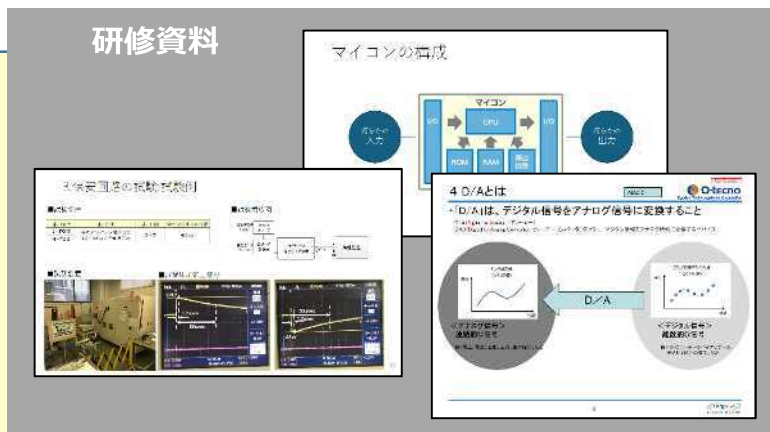
2024 年度 研修テーマ

2024 年度は 24 科目の講義を行い、延べ 200 名超が受講しました。

- ロジック・アナログ回路設計
- 組み込みソフトウェア設計
- 特許権
- 電力設備、運用の知識
- 信頼性設計技術 等

受講者は新入社員を中心に、中堅からベテランまで幅広く参加しています。

研修資料



受講者の声

- プログラミングでのバグ経験など、ネットやセミナーでは聞けないような話を聞くことが出来た。
- 普段の仕事でハード設計に関わっているが、研修を受講することでさらに理解を深めることが出来た。
- 普段の製品開発とは違う、特定の技術をまとめた資料を見る良い機会になった。新しい知識をつけるだけでなく、分かりやすい資料の作り方を学ぶことが出来た。

講師の声

- 研修のために説明資料を作成する過程で、さらに専門技術への理解が深まった。特に普段の製品開発とは異なり、自分の技術・知識を共有するための資料作成を行うことで、自分の中で曖昧なままになっていた技術的部分について振り返る良い機会になった。
- 担当分野以外の知識をつけるいい機会と思い理論分野の講師に立候補し、普段の業務とは別に新しい知識を付けることが出来た。
- 初心者でも分かるような資料作成や説明の仕方を心がけた。